

## 新型コロナウイルス感染症に対するガイドライン

### 行動規範

新型コロナウイルス感染を避けるため、大会期間中は主催者が決めた下記の事項を順守し指示に従ってください。

- ① 大会前は、感染が発生している地域への移動は控えること。
- ② 大会受付時に体調管理チェックシートの提出を義務付け、以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせること。
  - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③ マスクを持参すること（クラブハウス内はマスク着用）。
- ④ こまめな手洗いを行なうこと（30 秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う）。
- ⑤ 設置している消毒用アルコール剤で手指消毒を実施すること。  
（アレルギーその他、個々の手の状態により③のみでも可）
- ⑥ 口・鼻・目に不用意に触れないこと。
- ⑦ 可能な限りソーシャルディスタンス（約 2 m）を保つこと。
- ⑧ 競技中に大きな声で会話、応援などをしないこと。
- ⑨ 旗竿に触れることを極力避けること。
- ⑩ 毎朝、体温を測定し健康チェックを行なうこと。
- ⑪ 出場選手は、体調不良を少しでも感じたらコース上すべての人のために競技を棄権し委員会に申し出ること。
- ⑫ 配布するチェックシートに必要事項を記入し大会当日に主催者へ受付で提出すること。
- ⑬ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。
- ⑭ 万一、大会期間中に陽性者が会場にいたことが判明した場合、二次感染の予防のため主催者から状況をお知らせするので、チェックシートに緊急連絡先（携帯電話・メールアドレス）を記入すること。  
（取得した個人情報、緊急連絡時以外は使用しません）

## 大会期間中の感染予防策

○委員会の取り組み ▶選手の行動

### ◆ホテル

- 感染拡大防止対策が取られている宿泊施設を選ぶこと。
- 基本的に個室とするが、やむを得ない場合は家族ごとの部屋割りとします。
- ▶感染拡大防止に努め、自室からの移動は極力控えること。
- ▶夕食、朝食時には係の指示に従い感染拡大防止に努めること。

### ◆車寄せ（玄関）

- ▶キャディバッグの荷下ろしはプレーヤー自身で行なうこと。
- ▶玄関からスタート室前までは、プレーヤー自身で運ぶこと。

### ◆クラブハウス

- クラブハウス内のアルコール消毒を定期的かつ随時行います。  
(ロッカー取手・ロッカーキー回収・自動精算機・フロントカウンター周り)
- クラブハウス内の換気を実施します。
- 消毒用アルコールを各所に配備します。
- 非接触型の検温器による検温を実施します。  
(37.5°C以上の場合は、出場をお断りします。)

### ◆フロント

- ▶チェックインは記帳せず、スタート時刻と氏名を告げること。
- 選手へのインフォメーションボードは、密を避け分散して掲示します。

### ◆ロッカーの振分け

- 同時に使用する人数や各選手のスタート時刻を考慮します。

### ◆トイレ

- 便座除菌クリーナーを設置します。

### ◆レストラン

- アルコール消毒を定期的かつ随時行います（テーブル・椅子・メニューカバー）。
- テーブルは2 m以上の間隔で配置します。
- バイキング形式の提供方法は以下のとおりとします。

（調理スタッフが一皿ずつ提供する専用コーナー・個盛りしてラッピング・ご飯と味噌汁は専用サーバーを導入）

- ▶料理を取る際はマスクを着用し、備え付けの簡易手袋を着用すること。

### ◆乗用カート

- ゴルフカートのアルコール消毒を定期的かつ随時行います。  
(ハンドル・シート・手摺り・ナビ画面)

◆スタート時刻

- スタート地点が密とならないよう、スタートする組だけが5分前に集合すること。

◆スターター

- テントを使用する場合は、2方向を開放します。
- ソーシャルディスタンスの確保のため、選手との間隔を開けて机を配置します。
- 追加のローカルルール等の説明は、口頭による伝達ではなく文書で配布します。
- カードを含めた配布物はテーブルに置くので、選手自身で取ること。

◆競技委員・マーシャル

- コース内を巡回する際、他の競技委員との乗用カートの共用を避けます。
- 選手との会話の際のソーシャルディスタンスの確保を心掛けます。

◆成績表示

- 密の状況を避けるため、SNSを活用して行います。

◆表彰式

- 行いません。

大会開催における基本方針

◆開催可否の判断

- ① 政府及び自治体の見解
- ② 大会開催地自治体の状況
- ③ 選手の動向及び動向
- ④ 他のスポーツの動向
- ⑤ JGA及びプロトーナメントの状況

◆大会実施の制限

- ① 無観客開催【競技・放送・取材】
- ② 非公開開催【競技・放送】
- ③ 大会中止

◆スタッフの対応

- マスクまたはフェースシールドを着用します。
- レストランスタッフはゴム手袋を着用します。
- 頻繁な手洗い、アルコールによる手指消毒を行います。
- 入社時に体温測定し、37.5℃以上の場合は自宅待機とします。
- 万一に備え、近隣の救急対応病院と所轄保健所と連携体制を取ります。

◆緊急時（荒天時）の対応

- 密の状況を作らないように早めに中断を決定します（避難時間の確保）。

- 避難ツール（車両・乗用カート）の十分な量を確保します。
- 避難場所のスペース（単純な広さとして）を確保します。  
（クラブハウスの他にカート庫やホテルロビー等の利用）

◆ギャラリーの制限

- 選手の家族は1名、入退場時のみ来場を認めます。

◆取材規制

- 非接触型の検温器による検温を実施します。  
（37.5°C以上の場合は、取材をお断りします）
- 事前登録をしていない方は身分証明書の掲示を求めます。
- インタビュー時は、選手との間に規制線を設置します。

◆選手・ギャラリー及び関係者から疑い例が出た場合

- 一時的に該当者を隔離する。
- 自覚症状を確認し、所轄保健所に相談する。
- 該当者から濃厚接触者の有無等について聞き取りを行う。
- 集団発生に対するリスク管理を行う。

◆選手・ギャラリー及び関係者からPCR検査の陽性反応が出た場合

- 会場に感染者がいたことを公表する。
- 該当者から、当日の移動手段、会場内での行動ルートの聞き取りを行う。
- 緊急対応病院または所轄保健所の指示を仰ぐ。
- 大会を中止にするべきかどうかを検討する。